

発行:医療法人社団 神鋼会 神鋼病院
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4-47 電話:078-261-6711(代表) FAX:078-261-6726
発行責任者:病院長 山本正之 編集責任者:神鋼病院広報委員会 委員長 山神和彦

泌尿器がん手術の発展と 神鋼病院泌尿器科

Urology

Greeting

泌尿器がんの手術はここ20年で大きな変化をとげています。

前副院長の山中が本年3月で退職いたしました。当院で山中の行ってきた手術の歴史は、そのまま日本での泌尿器がんの手術の発展とかさなります。10月より科長に山下をむかえ新体制になりますが、日本で初めて新膀胱造設術を行い現在でも日本有数の新膀胱症例数をほこるとともに、尿失禁の少ない前立腺全摘術の術式について現在でも学会で指導をつづけている山中の実績を今後とも継承発展させたいと考えております。まだまだ泌尿器科がんの治療は発展途上です。ここでは代表的な泌尿器がん手術の現状や当院での実績、方針についてお話しさせていただきます。

前立腺がん

現在では最も多く施行される泌尿器科がんの手術になった前立腺全摘除術ですが、市中病院で広く行われるようになったのは最近15年ほどのことです。放射線治療も時を同じくして進歩しており、現在では治療選択肢も多くなった前立腺がんですが、前立腺全摘除術は重要な治療選択肢のひとつとして確立されてきています。

大出血と尿失禁という大きな問題があった前立腺全摘除術は、アメリカから骨盤内解剖の新たな知見や静脈叢の対処方法が紹介されて、1990年前後から日本でも本格的に行われるようになりました。現在でもかなり改善されたとはいえ、尿失禁がこの手術の最大の問題点であることはわかりありません。

前立腺がんはゆっくり進行する比較的高齢者のがんですので、すべての症例でがんを根治するという目標にはしません。ホルモン治療や放射線治療で生命予後を保てるのであれば、わざわざ手

術で尿失禁のリスクをおかす必要はないからです。このため、患者さん一人ひとりでQOLとのバランスをとった治療戦略が必要です。60歳代の患者さんは括約筋が比較的しっかりしていることもあり、前立腺全摘術が有力な選択肢になります。被膜浸潤の疑いなど高リスク症例でも、年齢の若い方では集学的治療の一環として手術を選択することがあります。逆に高齢になればなるほど期待余命や全身状態との兼ね合いで手術が選択される率は減少し、75歳以上では全摘術を行うことはまずありません。外科的切除しか方法がないがんであれば根治のために多少の後遺症はゆるされるでしょうが、

欧米で重視される勃起障害とあわせて出血が少なく尿失禁をおこさない、しかも根治性の高い前立腺全摘術を行うためには、括約筋周囲や骨盤神経などの骨盤内の解剖についての豊富な知識とどのような局面でも臨機応変な対処が可能な高い技術が要求されます。当院では、適切な手術適応、治療戦略の判断と共に、根治性が高くかつ尿失禁の少ない術式を長年山中が進歩させてきており、学会でも高く評価されています。昨年も50例を超える兵庫県内最多の前立腺全摘除術を施行しています。

Keiji Yuen



Profile

結縁 敬治

神鋼病院泌尿器科
日本泌尿器科学会認定指導医

神戸大学病院、国立がんセンターレジデント、兵庫成人病センター、静岡がんセンターなどをへて 2006 年より神鋼病院泌尿器科勤務。泌尿器がん治療についてのセカンドオピニオン外来も担当しております。

膀胱がん

尿路変向に大きな変革をもたらした新膀胱造設術は、世界的にもまだ30年に満たない歴史しかありません。この手術を1986年に日本で初めて山中が行ってから20年余、当院が日本での新膀胱手術の有力施設のひとつであることはまだわかりなく、年間10~15例の新膀胱造設術を行っています。膀胱全摘後にストーマをつけることなく自排尿が可能となる新膀胱手術は、QOLのよい術後状態を提供

きるので、ストーマを躊躇するがために膀胱がんの根治手術時期を逸することなく、高い根治性とQOLの両立に寄与しています。

ただ、高度な侵襲の手術になりますので、オンコロジーに基づく手術適応の判断、出血の少ない適切な切除と、腸管外科に精通した再建が要求される泌尿器科でも難易度の高い手術の一つです。括約筋部の処理は前立腺全摘術と共通であり、当院での術後の排尿状態はたいへん良好な成績です。

また、医師患者双方の理解をふかめ、情報交換をおこなう目的で、新膀胱の患者会を日本で初めて発足させ、患者さん同士の意見交換や情報収集、勉強会を定期的に行っています。



骨盤外科

同じ骨盤内の悪性腫瘍を対象とする外科、泌尿器科、婦人科と3つの科のがん手術の研修を私と同じく国立がんセンターでうけ、また静岡がんセンターで開院時より一緒に仕事をしてきた石井先生を昨年当院外科にむかえました。科をまたがる骨盤内悪性腫瘍手術には、以前にもましてたいへんな強みがある体制を整え、実際に症例数を重ねているところです。直腸がん膀胱浸潤など他科臓器へ浸潤した骨盤内悪性腫瘍に対する合併切除、骨盤内臓全摘術、科のまたがる同時性がん、骨盤内再発に対する再手術での尿路合併切除再建術、などで患者さんにベストの骨盤外科手術を提供します。

腎細胞がん・腎盂尿管がん

腎の手術は、最近では入院期間の短縮化、低侵襲化を目的に腹腔鏡下手術や後腹膜鏡下手術（いずれも保険適応）が主流になっており、現在当院でも年々症例数を増やしているところです。画一的な腹腔鏡手術への移行ではなく、小さな腎細胞がんの部分切除には腹腔鏡と小切開を併用するハイブリット手術、また大きな腎細胞がんや浸潤性尿管がんでは腹膜鏡下手術ではなく開腹により十分な切除や郭清などオンコロジーに基づいた根治手術を行っています。10月より泌尿器腹腔鏡技術認定医である山下を迎え、さらに症例数をふやしていきたいと考えています。

精巣がん

精巣がんは抗がん剤がよく効くため、転移があっても根治をめざして集学的治療を行う数少ない固形がんのひとつです。腹部リンパ節転移を抗がん剤治療後に根治的に切除する後腹膜リンパ節郭清術は、泌尿器科で最も難易度の高い手術です。がんセンターなどでの豊富な経験をふまえた合併症の少ない後腹膜リンパ節郭清術を行っており、高度な抗がん剤治療の管理とともに根治をめざした精巣がんの治療を行っています。

泌尿器科新部長のご紹介

このたび17年余り勤務した明石市立市民病院よりまいりました。昭和59年卒業ですので、医師となって25年余り経過しての転勤ですので不安はありますが、期待感もすぐあります。当院の特徴に私の加入がうまく融合するよう、頑張っていきたいと思っています。

私は西宮市に生まれ、甲子園にあった甲陽学院高校を卒業後、青森県の弘前大学に入学し、卒業まで準硬式野球一筋でした。卒業後、神戸大学泌尿器科に入学。県立淡路病院、国立神戸病院、神戸大学病院勤務ののち平成4年より明石市立市民病院で勤務しておりました。今後末永くよろしく願いいたします。



山下 真寿男

- ・医学博士
- ・日本泌尿器科学会認定指導医
- ・日本泌尿器科学会認定専門医
- ・日本Endourology・ESWL学会
泌尿器腹腔鏡技術認定医
- ・神戸大学医学臨床准教授

RI 機器が新しくなります

放射線センター長 本山 新

平素は神鋼病院 放射線センターをご利用頂き、ありがとうございます。

この度、放射線センターでは RI 装置を更新しました。新機種導入により、検査時間短縮や患者さんの負担軽減、検査待ち日数短縮を期待しています。また、ワークステーションも新しくなり、脳血流や心機能などの解析機能も数段良くなります。装置を更新するだけでなく、安全で確実な検査を継続して行えるよう、今後もさらに努力いたします所存です。

工事期間中(8月下旬から9月末)、RI 検査を中止させていただいておりましたが、10月から RI 検査を再開させていただきます。今後とも神鋼病院 放射線センター並びに新しくなった RI 装置をご活用いただきますよう宜しくお願い申し上げます。



■ 検査内容

心筋、骨、脳血流、腫瘍(Ga,Tl)、肺換気・血流、甲状腺、副腎、肝胆道、肝受容体、消化管出血、レノグラム等

■ 連絡先

地域医療連携室

電話：078-261-6739 FAX：078-261-6728

■ 地域医療連携室からのお知らせ

当院では、患者さんに適切で良質な医療を提供できるよう、「逆紹介」を推進しております。ご紹介いただいた患者さんは、当院におきまして適切な治療・検査を行い、その後急性期を過ぎ病状が安定されましたら、再び紹介元の医療機関へお戻りいただいております。(病状や病態により適切な医療機関への紹介をさせていただく場合もございます)

また、ご紹介いただきました患者さんが入院される際には、現在処方されているお薬の内容をお知らせいただくとともに、処方されたお薬を全て持参されますよう、患者さんへ御指導していただければ幸いです。神鋼病院は、これからも地域の医療機関と協力して、診療を行っていきたく考えております。ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

■ 予約受付時間

- 平日：8時30分～19時00分
- 土曜日：8時30分～12時00分

■ 外来・検査・入院依頼

- 電話FAXにて地域医療連携室にご連絡ください。
TEL:078-261-6739(直通)
FAX:078-261-6728(直通)
- 時間外は当直医がお受けさせていただきます。
下記病院代表までお電話ください。
TEL:078-261-6711(代表)

新神戸ドック健診クリニック 10月1日OPEN!!



TEL (078)261-6736

<http://www.shinkohp.or.jp/contents/kensin/doc.html>

■ 膠原病リウマチセンター

開設のご案内

12月より、膠原病リウマチセンターを開設いたします。診療予定は以下の通りとなっております。

(2009年10月1日現在)

■ 外来診療担当

- 月曜(午後) ----- 辻
- 火曜 ----- 休診
- 水曜 ----- 休診
- 木曜(午前) ----- 古形
- 金曜 ----- 熊谷(第1・3週)
笠木(第2・4・5週)

※金曜日の熊谷医師の外来は変更になる場合があります。

第15回 中央区・灘区医師会 神鋼病院交流会開催のご案内

神鋼病院では、地域の開業医の先生方との連携を図るため、医師会交流会を下記の日時に開催致します。講演会終了後に懇親会を設けておりますので、中央区・灘区のみならず、他地域からの開業医の先生方のご参加も心からお待ちしております。交流会の件につきまして、ご不明な点がございましたら、地域医療連携室までお問い合わせください。

日時：平成21年10月22日（木） 18:30～20:30

会場：神鋼病院3階 講堂 （神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL：078-261-6711）

講演Ⅰ

最新のリウマチ治療について
神鋼病院膠原病リウマチセンター
開設にあたって

神戸大学医学部附属病院
免疫内科医長
辻 剛 先生

講演Ⅱ

当院における肺癌及び
胸膜悪性腫瘍手術の現状

神鋼病院呼吸器センター
呼吸器外科医長
榎屋 大輝

講演Ⅲ

大腸癌
外科療法における当院の特色

神鋼病院外科医長
石井 正之

◆参加費無料 ◆日医生涯教育講座5単位 ◆終了時刻は変更することがあります。
◆連絡先：地域医療連携室 TEL:078-261-6739

第3回神鋼病院リウマチ懇話会のご案内

日時：平成21年11月18日（水） 19:00～21:00

会場：神鋼病院3階 講堂 （神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL 078-261-6711）

講演Ⅰ

「リウマチ治療のピットフォール」

神鋼病院整形外科 科長 武富 雅則

講演Ⅱ

「当院における骨粗鬆症の治療経験」

大久保病院整形外科 田中 日出樹 先生

◆参加費として500円徴収させていただきます。
◆日本医師会生涯教育講座単位 5単位 ◆日本整形外科学会教育研修単位 （別途、1単位につき1000円徴収させていただきます）
*講演Ⅰ：専門医資格継続単位1単位（01整形外科基礎科学、06リウマチ性疾患・感染症）又は、リウマチ医資格継続単位1単位
*講演Ⅱ：専門医資格継続単位1単位（04代謝性骨疾患、13リハビリテーション）又は、リハビリ医資格継続単位1単位
◆リウマチ学会単位申請中、なお、軽食をご用意いたしております。